



ポート プロファイルの設定

この章の内容は、次のとおりです。

- [ポートプロファイル, 1 ページ](#)
- [ポートプロファイルクライアント, 2 ページ](#)
- [ポートプロファイルの作成, 2 ページ](#)
- [ポートプロファイルの削除, 4 ページ](#)
- [ポートプロファイルへのネームド VLAN の追加, 5 ページ](#)
- [ポートプロファイルからのネームド VLAN の削除, 6 ページ](#)
- [ポートプロファイルへのポートプロファイルクライアントの追加, 7 ページ](#)
- [ポートプロファイルからのポートプロファイルクライアントの削除, 9 ページ](#)

ポート プロファイル

ポートプロファイルには、Cisco UCS for VM-FEX に仮想インターフェイスを設定するために使用できるプロパティと設定が含まれています。ポートプロファイルは、Cisco UCS Manager で作成および管理されます。1つ以上の DVS によってポートプロファイルが作成され、割り当てられ、アクティブに使用された後、Cisco UCS Manager のポートプロファイルのネットワークングプロパティに行われたすべての変更がそれらの DVS にすぐに適用されます。

VMware vCenter では、ポートプロファイルはポートグループとして表現されます。Cisco UCS Manager はポートプロファイル名を VMware vCenter にプッシュし、VMware vCenter はポートグループとして名前を表示します。VMware vCenter では、ポートプロファイル内の特定のネットワークングプロパティや設定を表示できません。Cisco UCS Manager でポートプロファイルを VMware vCenter にプッシュさせる場合、ポートプロファイルに少なくとも1つのポートプロファイルクライアントを設定する必要があります。

ポートプロファイルクライアント

ポートプロファイルクライアントは、ポートプロファイルが適用される DVS を決定します。デフォルトでは、ポートプロファイルクライアントは、関連付けられたポートプロファイルが VMware vCenter のすべての DVS に適用されることを指定します。ただし、特定のデータセンターまたはデータセンターフォルダのすべての DVS、あるいは 1 つの DVS のみに対してポートプロファイルを適用するように、クライアントを設定できます。

ポートプロファイルの作成

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /system # scope vm-mgmt	システム Virtual Machine (VM; 仮想マシン) 管理モードを開始します。
ステップ 3	UCS-A /system/vm-mgmt # scope vmware	VMware モードを開始します。
ステップ 4	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware # scope profile-set	システム VM 管理 VMware プロファイルセット モードを開始します。
ステップ 5	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set # create port-profile profile-name	指定したポートプロファイルが作成され、システム VM 管理 VMware プロファイルセット ポートプロファイルモードが開始します。
ステップ 6	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # set descr description	(任意) ポートプロファイルの説明を入力します。 (注) 説明にスペース、特殊文字、または句読点が含まれている場合、説明を引用符で括弧する必要があります。引用符は show コマンド出力の説明フィールドには表示されません。
ステップ 7	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # set host-nwio-perf {high-performance none}	次のいずれかのオプションを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • ハイパフォーマンス • なし

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # set max-ports <i>max-num</i>	ポートプロファイルが使用できるポートの最大数を指定します。 1つの分散仮想スイッチ（DVS）に関連付けることができるポートの最大数は4096です。DVSに関連付けられたポートプロファイルが1つだけの場合は、そのポートプロファイルに最大4096個のポートを設定できます。しかし、DVSに関連付けられたポートプロファイルが複数ある場合は、それらのポートプロファイルに関連付けられたポートの総数が4096を超えることはできません。
ステップ 9	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # set nw-control-policy <i>policy-name</i>	ポートプロファイルに使用するよう に、ネットワーク制御ポリシーを指定 します。
ステップ 10	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # set pin-group <i>group-name</i>	ポートプロファイルに使用するよう に、LAN pin グループを指定します。
ステップ 11	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # set qos-policy <i>policy-name</i>	ポートプロファイルに使用するよう に、QoS ポリシーを指定します。
ステップ 12	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # commit-buffer	トランザクションをコミットします。

次に、MyProfile という名前のポートプロファイルを作成および設定して、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope system
UCS-A /system # scope vm-mgmt
UCS-A /system/vm-mgmt # scope vmware
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware # scope profile-set
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set # create port-profile MyProfile
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile* # set descr "This is my port profile"
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile* # set host-nwio-perf high-performance
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile* # set max-ports 24
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile* # set nw-control-policy ncp5
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile* # set pin-group PinGroup54
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile* # set qos-policy QosPolicy34
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile* # commit-buffer
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile #
```

次の作業

ポートプロファイルにポートプロファイルクライアントを追加します。

ポートプロファイルの削除

VMがポートプロファイルをアクティブに使用している場合、そのポートプロファイルは削除できません。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /system # scope vm-mgmt	システム Virtual Machine (VM; 仮想マシン) 管理モードを開始します。
ステップ 3	UCS-A /system/vm-mgmt # scope vmware	VMware モードを開始します。
ステップ 4	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware # scope profile-set	システム VM 管理 VMware プロファイル セット モードを開始します。
ステップ 5	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set # delete port-profile profile-name	指定されたポートプロファイルを削除します。
ステップ 6	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set # commit-buffer	トランザクションをコミットします。 Cisco UCS Manager はポートプロファイルと、関連付けられたすべてのポートプロファイルクライアントを削除します。

次に、MyProfile という名前のポートプロファイルを削除して、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope system
UCS-A /system # scope vm-mgmt
UCS-A /system/vm-mgmt # scope vmware
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware # scope profile-set
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set # delete port-profile MyProfile
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set* # commit-buffer
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set #
```

ポートプロファイルへのネームド VLAN の追加

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /system # scope vm-mgmt	システム Virtual Machine (VM; 仮想マシン) 管理モードを開始します。
ステップ 3	UCS-A /system/vm-mgmt # scope vmware	VMware モードを開始します。
ステップ 4	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware # scope profile-set	システム VM 管理 VMware プロファイルセットモードを開始します。
ステップ 5	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set # scope port-profile profile-name	指定したポートプロファイルに対して、システム VM 管理 VMware プロファイルセットポートプロファイルモードを開始します。
ステップ 6	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # create vlan vlan-name	ポートプロファイルに使用するよう、ネームド VLAN を指定します。 (注) ゲスト VLAN トランキングに複数の VLAN を作成できます。
ステップ 7	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile/vlan # set default-net no	(任意) UCS Manager のネイティブ VLAN としてデフォルト ネット VLAN を設定します。
ステップ 8	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile/vlan # commit-buffer	トランザクションをコミットします。

次に、accounting という名前の VLAN を MyProfile という名前のポートプロファイルに追加し、VLAN を非ネイティブとして設定して、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope system
UCS-A /system # scope vm-mgmt
UCS-A /system/vm-mgmt # scope vmware
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware# scope profile-set
```

```

UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set # scope port-profile MyProfile
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # create vlan accounting
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile/vlan* # set native no
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile/vlan* # commit-buffer
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile/vlan #

```

ポートプロファイルからのネームド VLAN の削除

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /system # scope vm-mgmt	システム Virtual Machine (VM; 仮想マシン) 管理モードを開始します。
ステップ 3	UCS-A /system/vm-mgmt # scope vmware	VMware モードを開始します。
ステップ 4	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware # scope profile-set	システム VM 管理 VMware プロファイルセットモードを開始します。
ステップ 5	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set # scope port-profile profile-name	指定したポートプロファイルに対して、システム VM 管理 VMware プロファイルセットポートプロファイルモードを開始します。
ステップ 6	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # delete vlan vlan-name	指定されたネームド VLAN をポートプロファイルから削除します。
ステップ 7	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # commit-buffer	トランザクションをコミットします。

次に、**accounting** という名前の VLAN を **MyProfile** という名前のポートプロファイルから削除して、トランザクションをコミットする例を示します。

```

UCS-A# scope system
UCS-A /system # scope vm-mgmt
UCS-A /system/vm-mgmt # scope vmware
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware# scope profile-set
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set # scope port-profile MyProfile
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # delete vlan accounting
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile* # commit-buffer
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile #

```

ポートプロファイルへのポートプロファイルクライアントの追加

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope system	システムモードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /system # scope vm-mgmt	システム Virtual Machine (VM; 仮想マシン) 管理モードを開始します。
ステップ 3	UCS-A /system/vm-mgmt # scope vmware	VMware モードを開始します。
ステップ 4	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware # scope profile-set	システム VM 管理 VMware プロファイルセットモードを開始します。
ステップ 5	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set # scope port-profile <i>profile-name</i>	指定したポートプロファイルに対して、システム VM 管理 VMware プロファイルセットポートプロファイルモードを開始します。
ステップ 6	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # create client <i>client-name</i>	指定したポートプロファイルクライアントが作成され、システム VM 管理 VMware プロファイルセットポートプロファイルクライアントモードが開始します。 ポートプロファイルクライアントは、ポートプロファイルが適用される DVS を決定します。デフォルトで、ポートプロファイルは vCenter 内のすべての DVSES に適用されますが、オプションの set data-center 、 set folder 、および set dvs コマンドを使用して、特定のデータセンター、データセンターフォルダにあるすべての DVS、または特定の DVS にポートプロファイルを適用できます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 7	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile/client # set descr <i>description</i>	(任意) ポートプロファイルクライアントの説明を入力します。 (注) 説明にスペース、特殊文字、または句読点が含まれている場合、説明を引用符で括弧する必要があります。引用符は show コマンド出力の説明フィールドには表示されません。
ステップ 8	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile/client # set data-center <i>data-center-name</i>	(任意) ポートプロファイルが適用されるデータセンターを指定します。
ステップ 9	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile/client # set folder <i>folder-name</i>	(任意) ポートプロファイルが適用されるデータセンターフォルダを指定します。
ステップ 10	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile/client # set dvs <i>name</i>	(任意) ポートプロファイルが適用されるDVSを指定します。
ステップ 11	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile/client # commit-buffer	トランザクションをコミットします。

次に、MyProfile という名前のポートプロファイルを OtherDatacenter という名前のデータセンターにあるすべての DVS に適用する、OtherClient という名前のポートプロファイルクライアントを作成して、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope system
UCS-A /system # scope vm-mgmt
UCS-A /system/vm-mgmt # scope vmware
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware # scope profile-set
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set # scope port-profile MyProfile
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile* # create client MyClient
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile/client* # set descr "This is my other client for my port profile"
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile/client* # set data-center OtherDatacenter
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile/client* # commit-buffer
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile/client #
```


ポートプロファイルからのポートプロファイルクライアントの削除

クライアントが関連付けられているポートプロファイルが VM がアクティブに使用している場合、そのポートプロファイルは削除できません。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /system # scope vm-mgmt	システム Virtual Machine (VM; 仮想マシン) 管理モードを開始します。
ステップ 3	UCS-A /system/vm-mgmt # scope vmware	VMware モードを開始します。
ステップ 4	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware # scope profile-set	システム VM 管理 VMware プロファイルセット モードを開始します。
ステップ 5	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set # scope port-profile profile-name	指定したポートプロファイルに対して、システム VM 管理 VMware プロファイルセットポートプロファイルモードを開始します。
ステップ 6	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # delete client client-name	指定されたポートプロファイルクライアントを削除します。
ステップ 7	UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # commit-buffer	トランザクションをコミットします。

次に、OtherClient という名前のポートプロファイルクライアントを MyProfile という名前のポートプロファイルから削除してトランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope system
UCS-A /system # scope vm-mgmt
UCS-A /system/vm-mgmt # scope vmware
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware# scope profile-set
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set # scope port-profile MyProfile
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile # delete client OtherClient
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile* # commit-buffer
UCS-A /system/vm-mgmt/vmware/profile-set/port-profile #
```

